

# おのまち 地域おこし協力隊活動記

## ペルサルーテにて



お世話になっております。地域おこし協力隊の阿井伸介です。

この記事を書いている時点では稲刈りの真っ最中です。今年は暑くなったり、涼しかったり、雨が続きたりで、作物を育てていても作業のタイミングがつかみづらい、大変な一年であったのではないかと私なりに思うところがあります。

この記事が皆さんのお手元に届いている頃には、そんな作業もひと段落されていらっしゃるのではないのでしょうか。お疲れさまです。



完成したしめ縄



しめ縄作り

私の住んでいる上羽出庭地区では、今年もしめ縄を作る時期となりました。地元の方々が集まり、吉野辺にお住まいの先生に教わりながら作り始めて、今年で3年目となるそうです。今年も立派なしめ縄が完成し、9月26日に神社に奉納されたとのこと。地元つながりとして祭りもいいですが、神社の奉納品を地元のみんなで作るといいものだなあと感じます。

私の主な仕事はにんにくの生産・黒にんにくへの加工をお手伝いすることと、農産物のPRをし、販売につなげる活動です。10月にはにんにくの播種(種植え)の時期であります。



にんにく種準備

私もこの仕事をさせていたでくまで知らなかったのですが、にんにくは種を買ってそのまま植えるのではなく、盤茎と呼ばれる根っこを生えてくる部分を丁寧に外し、にんにく一片ごとに分けないといけません。これが指先に力が要る作業なのです。その作業を種にんにく何十キログラムと作業しなければいけないので、種にんにくが積んである箱を見るだけでも圧倒されてしまします。

農作業は、作物だけを見ているとわからない、地道な作業の連続で、その一連の作業の中に農家ごとの工

夫が組み込まれているのだなあとあらためて思い知らされます。

9月21日、小野高校の2年生が総合的な探求の時間「食文化」の授業の一環として、私がお世話になってい

るペルサルーテの組合長の元に黒にんにくの生産や農作業について勉強にいらっ

しゃったので、立ち会わせていただきました。皆さんが話をしているのを聞いて

いただけなのですが、小野高校の生徒さんたちは、作物の生産について興味を持ち、独自に調べ、組合長への質問を用意して参加されており、よく勉強しているなあと感じました。

またその質問の内容も黒にんにくの食べ方、どのように料理に使ったら良いとか、私と私の妻が考えあぐねている黒にんにくを使ったレシピや別商品の材料として活用するためのヒントとなりそうなものや、PR活動にも使えるような意見も出て、いい刺激をいただきました。勉強になりました。やはり多様な意見を聞くことでヒントを得られるとい



真剣に話を聞く小野高生

うのは本当だと思います。冬の作物を栽培している方や酪農の方々におかれましては、これから寒くなり凍結の時期に入ってまいりますので、体調など崩されませぬよう、どうぞご自愛いただきたいと思います。

### 今回の担当は…



**阿井 伸介** 隊員  
出身/静岡県藤枝市  
担当/  
農業・6次化分野  
主な活動場所/  
生産組合ペルサルーテ